

事務事業名		健康づくり推進体制整備事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 保健・予防活動の充実					01	04	01	01	11
根拠法令											
所属	部課名	生活福祉部保健介護センター			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和54 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
	課長名	後藤俊一									
	係名	成人保健係	電話	0192-27-3111							
	担当者	鈴木綾子	内線	437							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)				
- 健康づくりについての保健活動の推進に関する事項等を協議するため、健康づくり推進協議会(委員15人)設置要綱に基づき健康づくり推進協議会を開催する。(2年任期) - 市委嘱の健康づくり推進員(133名)の打合せ会議及び研修会を開催する。 - 主な業務は、委嘱委員の選定、会議の設営、保健活動に関する議題の設定など。 - 医師等との打合せ会を開催する。 - 報酬は、委嘱委員及び打合せ会に出席した医師及び歯科医師に支出する。							総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
									都道府県支出金		
									地方債		
									その他		
									一般財源		
									事業費計(A)	0	
									人件費		
正規職員従事人数											
延べ業務時間											
人件費計(B)	0										
トータルコスト(A)+(B)									0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標			
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) - 健康づくり推進協議会1回 - 健康づくり推進員打合せ会議及び研修会2回 - 歯科打合せ会議1回 - 小児保健事業打合せ会議1回 今年度計画(今年度に計画している主な活動) - 健康づくり推進協議会1回 - 健康づくり推進員打合せ会議及び研修会2回 - 歯科打合せ会議1回 - 小児保健事業打合せ会議1回	➡	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
		名称 単位	
		ア 健康づくり推進協議会開催回数	回
		イ 健康づくり推進員会議・研修会開催回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 - 健康づくり推進協議会委員 - 健康づくり推進員 - 医師及び歯科医師	➡	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称 単位	
		カ 健康づくり推進協議会委嘱委員数	人
		キ 健康づくり推進員数	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) - 健康づくり推進協議会で保健活動の推進について意見を述べる。 - 健康づくりに関心を持ち、行政と地域の橋渡しをする。 - 保健活動の推進のため、医師として助言及び指導をする。	➡	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称 単位	
		サ 地域における健康相談参加者数	人
		シ	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 健康に気をつけてもらう。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	21	1,605	1,555	1,944	1,944	1,944
	事業費計 (A)		千 円	21	1,605	1,555	1,944	1,944	1,944
	人件費	正規職員従事人数	人	4	6	5	10	10	10
		延べ業務時間	時 間	103	247	450	1,146	1,146	1,146
		人件費計 (B)	千 円	412	988	1,800	4,584	4,584	4,584
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	433	2,593	3,355	6,528	6,528
⑤活動指標		ア	回	0	1	1	1	1	
		イ	回	0	2	2	2	2	2
		ウ	回	1	2	2	2	2	2
⑥対象指標		カ	人	15	15	15	15	15	
		キ	人	0	132	133	143	143	143
		ク	人	4	15	20	20	20	20
⑦成果指標		サ	人	41	1,106	951	1500	1500	1500
		シ							
		ス							

事務事業ID	0277	事務事業名	健康づくり推進体制整備事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
・国からの通知により、積極的、体系的な健康づくり推進のために健康づくり推進協議会及び健康づくり推進員を設置。（昭和53年11月1日告示）			
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
・健康づくり推進協議会の委員数は昭和53年度設置当初は10人であった。現在まで要綱とおりの15人以内で構成している。（平成13年11月15日合併後、平成14年度から15人となっている。）			
・健康づくり推進員の委員数は昭和58年度設置当初は107人であったが、合併後141人となっている。（原則行政区単位で1名）平成24年度から仮設住宅において、2行政区が増になるも、休止の行政区もあり、平成25年度健康づくり推進員は133人である。			
・保健活動において、日中地域にいるのは高齢者が大部分を占め、参加者の減少、固定化、高齢化が進んでいる。			
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			
・平成23年度は、震災の影響により健康づくり推進協議会及び歯科保健事業打合せ会は、開催しなかった。また、健康づくり推進員も委嘱できなかったため、打合せ会議及び研修会を実施しなかった。平成24年度は震災前と同様に実施できた。			
・医師、歯科医師との打合せ会は、医師、歯科医師側から毎年開催してほしい旨要望されている。 ・地域での活動は住民から感謝されている。			

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 市民が健康づくりについて知る機会となっている。
	② 公共関与の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 妥当である ⇒【理由】⇒ 平成20年度からの特定健康診査・特定保健指導の実施義務化に伴い、健康づくり推進員の果たす役割が重要である。また、震災後、各地域住民の健康面の情報を市へ提供してもらう役割としても期待される。
	③ 対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 適切である ⇒【理由】⇒ 健康づくり推進員の活動内容や回数にばらつきが見られるため、活動内容を見直した。また、平成21年度は報酬等の見直しをした。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 地域住民の健康づくりのため、健康づくり推進員の委嘱以外に地域での活動が活発に展開できる組織や、介護保険の介護予防を目的とした地域支援事業を実施する関係者との連携が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 健康づくり事業を実施する上で、医師等との意見交換の場は不可欠であり、また、各界の多方面からの意見は貴重なものであり、協議会や打合せ会を廃止することは円滑な事業推進の妨げになる恐れがある。健康づくり推進員については、活動内容等地域によってはばらつきがあるなど課題が多いため、代わるものを見出すために模索しつつ、今ある健康づくり推進員を役割について見直しをしながら、充実を図っていく必要はある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある ⇒（具体的な手段、事務事業） 地域の類似組織の有無を含め調査検討する。 ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 組織廃止も含めた検討が必要である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 健康づくり推進員の報酬は、平成21年度減額した。
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現在、担当1～2人で実施しているが、業務量にあった人員が必要である。医師会の専門医との打合せ会は、夜間に開催せざるを得ない。業務内容が臨時職員や委託に適さない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部（3枚目シート）に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 健康づくり推進員の報酬は見直しをした。

事務事業ID	0277	事務事業名	健康づくり推進体制整備事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成20年度の総括のとおり、平成21年度は、健康づくり推進員の報酬額等を検討し減額した。 また、平成23年度は、委嘱しなかったものの、平成22年度までの内容は、健康づくり推進員の活動内容の協力回数、地域での保健活動にばらつきが見られる。																			
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☐ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 健康づくり推進員の有効的な活用方法について協議する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☐ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☒ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 健康づくり推進員の協力回数にばらつきがあり、地域での保健活動にもばらつきが見られる。健康づくり推進員以外に地域で保健活動を活発に展開する組織がないか検討し、活動等について見直す。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	保健介護センター所長	後藤俊一

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 健康づくり推進員の有効的な活用方法など、事業の見直しが必要である。																		
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 市民の健康保持のため、有効的な事業内容を検討していく必要がある。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上																																
	維持		●	×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
